

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・エコアクション21(認証番号0010256)			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境活動計画書、環境方針を全社員に周知している。												12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・工事現場において太陽光発電システムが利用されている機械の導入など、再生可能エネルギーの利用を積極的に行っている。							7.2						13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15				
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、全社員に周知する機会を設ける。																16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知する機会を設ける。																	16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・入社誓約書に知的財産の保護に関する項目を明示している。 【予定】 ・知的財産を保護することの重要性を研修会等で周知していく。								8.2	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を掲げ、社内外に周知している。 ・個人情報保護方針に則り適切に管理している。																		16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																			16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5				8		10		12	13	14	15	16	17	
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・砂利採取業務主任者、採石業務管理者、公害防止管理者を常駐させ徹底した製造管理に努めている。			3.9									12.4							
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・自社製造の生コンクリートが性能を満たしているか、圧縮強度試験などの品質検査を実施している。また社内の日常検査のみならず、建設現場へ出向いて要求性能を満たしているか、各種試験も行っている。(国土交通大臣認定、JIS認証等)										9									
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・従来の舗装材に比べ、自然環境の保全やヒートアイランド現象の抑制に優れたドライテックという舗装材の生産を開始している。						6						12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

